Panasonic

アクティブディスプレイ
CD･MD･DSP サウンドステーション

取扱説明書



品　番

CQ-MRX602D



保証書別添付

- このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日･販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

特 長

■ 1DIN に CD プレーヤー･MD プレーヤー･FM/AM チューナー･CD/MD チェンジャーコントロール機能、高音質 45W × 4ch パワーアンプを搭載

● CD-R/RW ディスク対応＊[1]

「CD-R/RW ディスクのご使用について」(☞34 ページ）をよくお読みください。

● MDLP(ロングプレイ)＊[2]、MD グループ機能に対応

異なった録音モード (2 倍長・ 4 倍長・通常) の曲が混在しているディスクを再生できます。
グループ機能にも対応しているので、聞きたい曲 (グループ) をスピーディに選べます。

● 漢字表示対応＊[3]、タイトルスクロール機能を搭載

MD タイトルや、CD テキスト＊[4] をスクロールさせて表示できます。

■ フルドットの豊かな表現力（3D ドットマトリックス･ディスプレイ）

● 滑らかで美しい 4 階調の表現により、多彩な 3D グラフィックスパターンを楽しめます。

■ 多彩なサウンドコントロール機能を搭載（☞22 ～ 27、32 ページ）

●音場創生　：7 モードの SPACE (スペース) 機能
●音質調整　：HEQ (ヒューマンイコライザー)、GEQ (グラフィックイコライザー)
●重低音再生：SBC SW (スーパーベースコントロール･サブウーファー)、SDBB (スーパーダイナミックバスブースト)

■ 取りはずしのできる、デタッチャブルフェイスを採用

● 車から離れるときに前面のパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができます。(☞33 ページ)

■ システムアップ用端子を装備

● CD/MD チェンジャーコントロール機能（☞20、44 ページ）

ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) を使用すれば、最大 2 台まで接続できます。

● ナビミュート機能（☞30、45 ページ）

カーナビゲーションの音声案内中に本機の音声をミュートすることができます。

● 外部音声入力端子（AUX）付き（☞32、43、45 ページ）

テレビ (別売) のステレオ音声等を本機で聞くことができます。

● 外部アンプと接続できるプリアウト端子付き（☞43 ページ）

お知らせ

接続可能な CD/MD チェンジャーは、下記の機種です。（2002 年 4 月現在）

● CD チェンジャー： CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D
● MD チェンジャー： CX-MD6D

＊1： CD チェンジャーは、機種によって CD-R に対応していないものがあります。また、ディスクによっては正常に再生されない場合もあります。CD-RW、MP3 には対応しておりません。
＊2： MD チェンジャーは、MDLP および MD グループ機能に対応しておりません。
＊3： MD チェンジャーは、漢字 / ひらがなを表示できません。
＊4： CD チェンジャーは、タイトル（CD テキスト）を表示できません。

もくじ

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない

禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない

禁止

保安部品（ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど）のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V⊖ アース車で使用する

本機は DC12V⊖ アース車専用です。DC24V 車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線･取り付け作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を必ずはずす

バッテリーの ⊖ 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

⚠ 警告

故障や異常のまま使用しない

禁止

万一、故障（画像が映らない・音が出ないなど）や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど）が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に相談してください。
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する

説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない

禁止

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

リモコンを放置しない

禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

安全にお使いいただくために　必ずお守りください

⚠注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する

配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない

禁止

発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。
特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

機器内部に異物を入れない

禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

禁止

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない

禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

本機の通風孔や放熱板をふさがない

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

適正な音量で使用する

車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない

禁止

特殊形状(ハート型・八角形・カード型など)の CD や、プロテクトフィルム・スタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD は使用しない

禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。
特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW は、使用しないでください。

⚠注意

電池は正しく扱う

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

- 指定の電池以外は使用しない。
- ⊕⊖ を電池ケースの表示に合わせて入れる。
- 使いきった電池は、すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
- 電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ビニール袋に入れる、テープなどを巻く）
- 著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）

電池を廃棄する場合は

- 地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

● 各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

携帯電話を使用する場合は

● 携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音を生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

● 車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

免責事項について

● 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

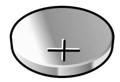
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

※ 配線･取り付け用の部品は、40 ページをご覧ください。

リモコン



パナソニック
リチウム電池（CR2025）
（1 個）



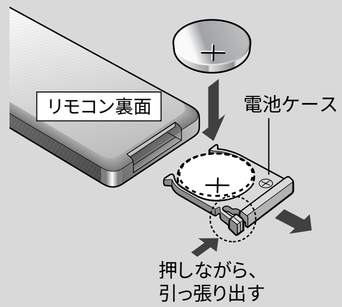
添付品

●取扱説明書（本書）
●保証書
●お客様ご相談窓口一覧表

リモコンに電池を入れる

❶ 電池ケースを出して、電池をのせる

⊕⊖ の向きを、
電池ケースの表示に合わせてください。



❷ 電池ケースを入れる

奥まで挿し込んでください。

電池について

●使用電池： パナソニック リチウム電池（CR2025）
●電池寿命： 通常の使用状態（常温時）で約 6 ヶ月

取り扱いの注意書き（☞7 ページ）を、よくお読みください。

各部のなまえとはたらき

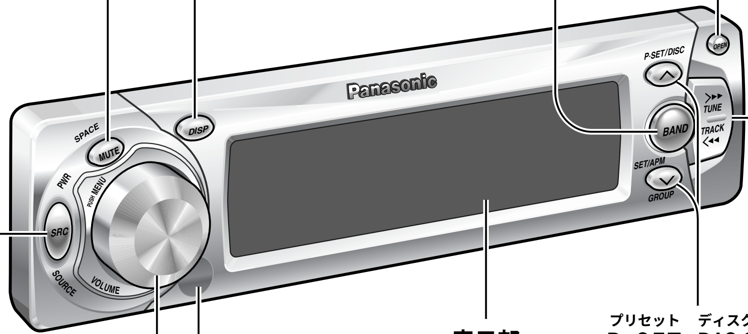
本 体

MUTE（ATT）, SPACE
- 一時的に音量を下げる
- 音場設定モードにする

DISP
- 表示を切り替える

BAND, SET, APM
- バンドを選ぶ
- 設定を切り替える・決定する
- 放送局を自動で探し、記憶させる
- 2 台のチェンジャーを切り替える

OPEN
- パネルを開ける



TUNE <>, TRACK◀◀ ▶▶
- 周波数 / 曲を選ぶ
- 項目を選ぶ・調整する

表示部

P･SET, DISC, GROUP ∨∧
- 項目を選ぶ・調整する
- 放送局を記憶させる・呼び出す (プリセット)
- チェンジャーのディスクを選ぶ
- MD 再生時にグループを選ぶ / ± 10 曲スキップして頭出しする

SRC (SOURCE), PWR
- 電源を ON/OFF する
- 音源(ソース)を切り替える

リモコン受光部

VOLUME
- 音量を調整する



回す

MENU
- メニューを表示させる

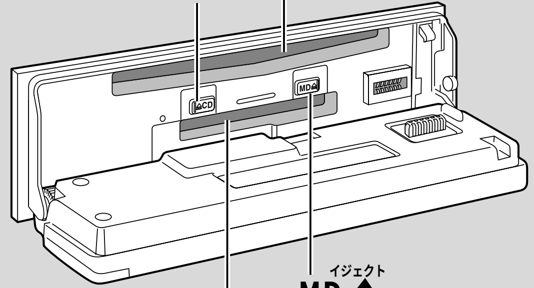


押す

本体のパネル開口部

CD 挿入口

▲CD



MD ▲

MD 挿入口

リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。

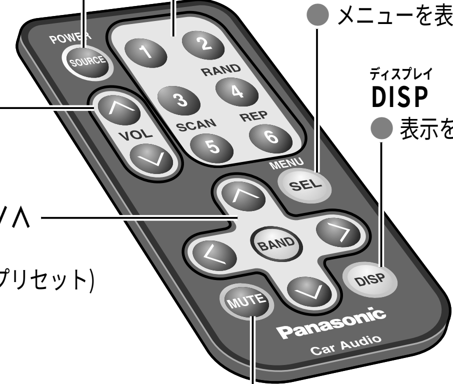
1 ～ 6（プリセットボタン）
- 放送局を記憶させる・呼び出す (プリセット)
- 順不同に聞く (RANDOM) 4
- 曲を探す (SCAN) 5
- 繰り返し聞く (REPEAT) 6

SOURCE, POWER
- 電源を ON/OFF する
- 音源(ソース)を切り替える

MENU
- メニューを表示させる

DISP
- 表示を切り替える

VOL ∨∧
- 音量を調整する



(P･SET), (DISC), (GROUP)∨∧
- 項目を選ぶ・調整する
- 放送局を記憶させる・呼び出す (プリセット)
- チェンジャーのディスクを選ぶ
- MD 再生時にグループを選ぶ / ± 10 曲スキップして頭出しする

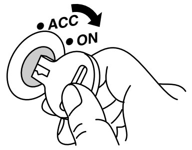
(TUNE)<>, (TRACK◀◀ ▶▶)
- 周波数 / 曲を選ぶ
- 項目を選ぶ・調整する

BAND, (SET), (APM)
- バンドを選ぶ
- 設定を切り替える・決定する
- 放送局を自動で探し、記憶させる
- 2 台のチェンジャーを切り替える

MUTE（ATT）, SPACE
- 一時的に音量を下げる
- 音場設定モードにする

電源を入れる・基本操作

準備 **車のエンジンをかける**
(「ACC ON」でも可)



はじめて電源を入れたときは
デモンストレーションが表示されます。
解除してから、ご使用ください。
→ DISP を押して、表示を切り替える

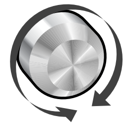


電源を入れる / 切る

PWR SRC
- ●ON（入）：押す
- ●OFF(切)：1 秒以上押す

お知らせ
- ●電源を入れるときにボタンを 4 秒以上押すと、デモンストレーションが表示されます。
- ●ACC（車のアクセサリ電源）を OFF にすると、セキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れアラームが鳴ります。（セキュリティ設定が ON の場合 ☞30 ページ）
- ●電源が切れているときにディスク（マガジン）を入れると電源が入り、再生が始まります。
- ●再生中のディスク（マガジン）を取り出すと、電源が切れます。

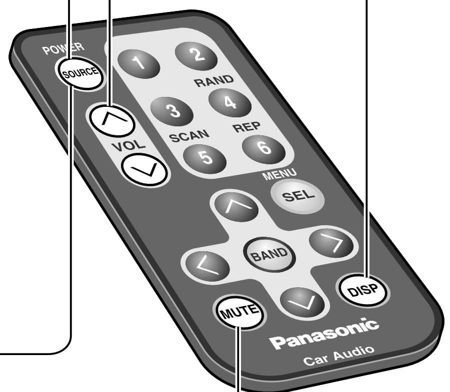
音量を調整する


を回す

(例)

調整範囲：0～40 / 2 ステップごと

- ●モードごと(ラジオは AM、FM ごと)に記憶されるので、モードを切り替えると音量も変わります。（インテリジェントボリューム）



音源(ソース)を切り替える

SRC を押して、切り替える

- FM または AM
- CD ― CD が入っている場合
- MD ― MD が入っている場合
- CD-CH または MD-CH ― チェンジャーが接続され、マガジンが入っている場合
- AUX

一時的に音量を下げる(ミュート/アッテネータ)

MUTE を押す
(再度押すと、解除)

音量の下がりかたは、機能設定によって異なります。
初期設定：MUTE(ミュート/アッテネータ設定 ☞30 ページ)

- ● MUTE（ミュート）：0 になる(消音)
- ● ATT（アッテネータ）：10 ステップ下がる(約 1/10)



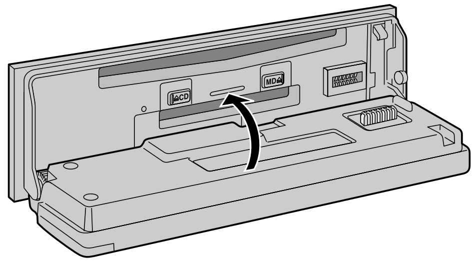
解除するまで表示される

パネルを開閉するには

●OPEN ：本体の OPEN を押す



●CLOSE ：パネルを手で押し上げる



画面表示を切り替える

●電源が入っているとき

DISP を押す

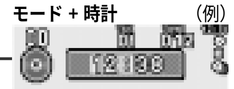
モード + タイトル (例)

CD/MD/CHANGER モードは、タイトル表示の ON/OFF を設定できます。(☞17, 19, 21 ページ)

モード + スペアナ (例)


スペアナ (例)

操作をすると、約 5 秒間 モード + スペアナ表示になります。

モード + 時計 (例)


全画面消灯：点灯中 (例)

照明も消灯されます。
操作をすると、約 5 秒間 モード表示が点灯し、再度消灯します。

●電源が切れているとき

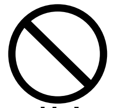
DISP を押す

時計表示 (例)


OFF：時計を表示しない
パネル全体の照明も消灯される

⚠ 注意

可動部に手・指を入れない
ディスク挿入口に異物を入れない

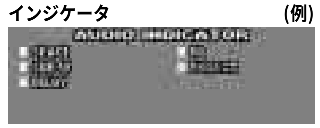

禁止

可動部に手・指、挿入口に異物を入れると、けがや故障の原因になります。
特に乳幼児にご注意ください。

お願い
- ●パネルの開閉を妨げたり、無理な力を加えたりしないでください。

使いかた

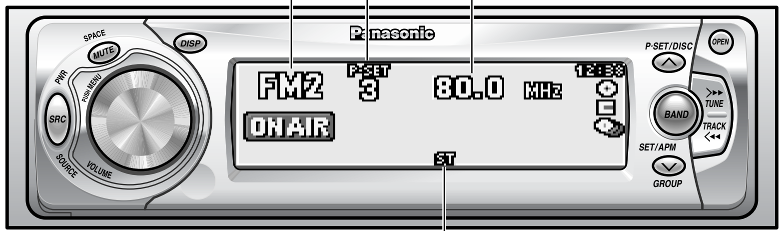
DISP を 2 秒以上押すと…
(再度押すと、解除)

インジケータ (例)


- ●現在有効な音質・音場設定が表示されます。

お知らせ
- ●スペアナのパターンは、別途選択してください。(☞28 ページ)
- ●時計が未調整のときは「ADJUST」と表示されます。(画面右上の時計は「-- : --」と表示されます。) 調整してください。(☞28 ページ)

ラジオを聞く



1 SRC **を押して、**
ラジオ(FM/AM)モードにする

2 BAND **を押して、**
バンドを選び

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

3 TUNE/TRACK **を押して、**
周波数を選ぶ

自動選局(シーク)したいときは
0.5 秒以上押し続ける

●はなした時点から選局を始め、受信すると止まります。

メニューからラジオ(FM/AM)の設定をする

1 放送を受信中に MENU **を押す。** **2** BAND (SET/APM) **を押して切り替える。**

お知らせ

●設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。

●**通常画面に戻すには…**

DISP または MENU を押す

FM 放送の受信を安定させる
(FM ダイバシティアンテナ受信)

FM ダイバシティアンテナが装備されている場合に有効な機能です。

初期設定 ：〈OFF〉

準備 ダイバシティアンテナを接続してください。(☞42 ページ)

ON	：使用する
OFF	：使用しない、装備されていない

AM 放送にステレオのような効果を与える
(AM バーチャルステレオ)

AM ステレオ放送の受信とは異なります。

初期設定 ：〈OFF〉

ON	：使用する（ステレオ効果）
OFF	：使用しない（通常の音声）

放送局を記憶させるには

各バンド（FM1、FM2、AM1、AM2）ごとに、放送局を最大 6 局まで記憶させることができます。

放送局を一つずつ記憶させる
(プリセットメモリ)

① **バンドと周波数を選び、**(☞ 左ページ)

② P·SET/DISC ∧ ∨ **を 2 秒以上押して書き込みモードにする。**

③ P·SET/DISC ∧ ∨ **を押してプリセット番号を選び、**

④ P·SET/DISC ∧ ∨ **を 2 秒以上押して記憶させる。**

●表示が 1 回点滅し、受信している放送局が記憶されます。

1 回点滅する

※リモコンの場合は…
バンドと周波数を選んだあとに
1 〜 6 (プリセットボタン) を 2 秒以上押しても、記憶させることができます。

お知らせ

●選局は、プリセット番号を選んだあとでも可能です。

●**途中でやめるには…**
DISP 押す

放送局を自動で探し、記憶させる
(オートプリセットメモリ)

バンドを選び、(☞ 左ページ)

BAND (SET/APM) **を 2 秒以上押す**

●受信状態のよい放送局が、プリセット番号 1 から順に記憶されます。

終了すると…

●記憶された放送局が約 5 秒ずつスキャンされます。

点滅する

P·SET/DISC ∧ ∨ を押して、放送局を選んでください。

※リモコンの場合は…
1 〜 6 (プリセットボタン) を押しても、選ぶことができます。

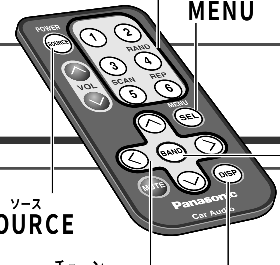
お知らせ ●記憶された放送局は、プリセットの操作をするたびに更新されます。

記憶された放送局を呼び出す

バンドを選び、(☞ 左ページ)

P·SET/DISC ∧ ∨ **を押す**

※リモコンの場合は…
1 〜 6 (プリセットボタン) を押しても、呼び出せます。



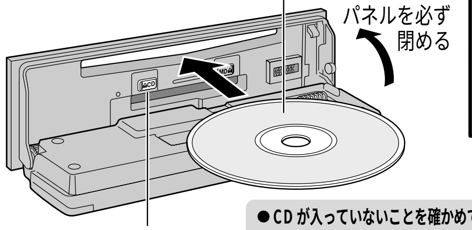
使いかた

CD を聞く

CD を入れる/取り出すには

本体の OPEN を押して、パネルを開く

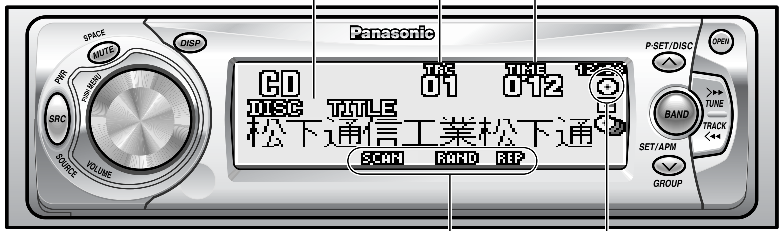
●CD を入れると、再生が始まります。



CD を取り出すには
本体の [≜CD] を押す

●CD が入っていないことを確かめてから、入れてください。
●CD の挿入口に、MD を入れないでください。
●シングルアダプターを使用しないでください。
8 cm CD は、アダプターなしで再生できます。

例）モード + タイトル表示



CD が入っているときは…

1 SRC **を押して、CD モードにする**

●再生が始まります。

2 TUNE/TRACK **を押して、曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには
0.5 秒以上押し続ける

●押し続けている間、早送り/早戻しされます。

お願い

「ディスクの取り扱いについて」(☞34 ページ) をよくお読みください。

● 特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない
● シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD（特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW）は使用しない

お知らせ

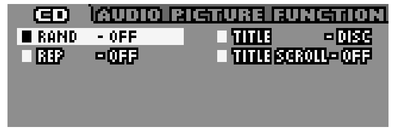
●CD-R/RW は、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。
●80 分以上録音されているディスクは、正常に再生できません。

メニューから CD の設定をする

1 **CD 再生中に** PWR MENU **を押す。**

2 ∧ ∨ **を押して項目を選び、**

3 BAND (SET/APM) **を押して設定を切り替える。**



順不同に聞く（ランダム）
初期設定〈OFF〉

RAND を選び、

ON	：自動選曲する
OFF	：解除

繰り返し聞く（リピート）
初期設定〈OFF〉

REP を選び、

ON	：再生中の曲を繰り返す
OFF	：解除

タイトル（テキスト）表示の設定
初期設定〈DISC〉

TITLE を選び、

DISC
ディスク名を全角で表示する (漢字/ひらがな表示にも対応)

TRACK
曲名を全角で表示する (漢字/ひらがな表示にも対応)

DISC/TRC
ディスク名と曲名を 2 行で表示する
(漢字表示は不可、ひらがなはカタカナに変換して表示される)

OFF
表示しない

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　CD テキスト（ディスクに記録されているタイトル情報）が表示されます。
※ 左のマークがついたディスクなど

※ 本機では、日本語を優先して表示します。（英語を優先させることはできません。）
● 表示できない文字は「?」と表示されます。
● 使用したレコーダーによっては、正しく表示されない場合があります。

スクロールの設定
初期設定〈OFF〉

TITLE SCROLL を選び、

末尾まで表示できる文字数の場合には、スクロールしません。

ON	：繰り返しスクロールする
OFF	：一周スクロールしたあと、静止する

●設定 OFF のときに、一周だけスクロールさせるには
タイトル表示中に BAND を 2 秒以上押す

お知らせ

●設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
●設定を続けるときは、❷ に戻って項目を選んでください。
●通常画面に戻すには…
DISP または PWR MENU を押す

リモコンダイレクト設定

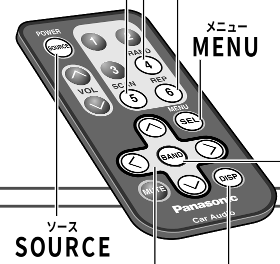
ランダム / スキャン* / リピートは、リモコンのボタン一つで操作できます。

メニューが表示されていないときに
RAND ❹ / SCAN ❺ / REP ❻ **を押す**
(再度押すと、解除)

＊ **曲を探す** (スキャン)　リモコンのみ
全ての曲を約 10 秒ずつ再生する
●一周すると解除されます。

お知らせ

●「NO TITLE」と表示されたときは…
情報が記録されていません。



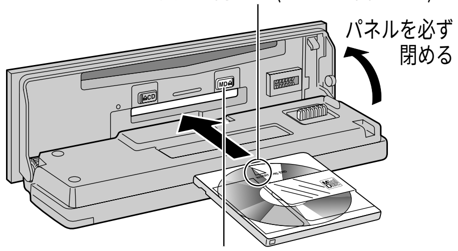
使いかた

MD を聞く

MD を入れる/取り出すには

本体の OPEN を押して、パネルを開く

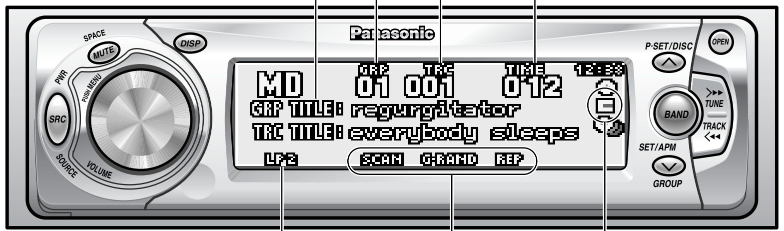
●MD を入れると、再生が始まります。



MD を取り出すには
本体の MD⏏ を押す

- ●MD が入っていないことを確かめてから、入れてください。
- ●CD の挿入口に、MD を入れないでください。

例）モード + タイトル表示



各曲の録音モード
LP2　：2 倍長録音
LP4　：4 倍長録音
消灯時：標準録音 (ステレオ/モノラル)

各設定が ON のときに点灯

MD が入っているときに点灯

＊ 1 グループ番号：グループ登録されている場合のみ、表示されます。
＊ 2 絶対曲番号　：ディスク内全てに対する曲番号が表示されます。
※ 相対曲番号 (再生中のグループ内に対する曲番号) は、表示されません。

MD が入っているときは…

1 SRC **を押して、MD モードにする**

●再生が始まります。

2 TUNE/TRACK **を押して、曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには

0.5 秒以上押し続ける

●押し続けている間、早送り/早戻しされます。

お知らせ

- ●録音モードが混在しているディスクも再生できます。
- ●MDLP モードは標準モードと比較して、音質に若干の変化があります。あらかじめご了承ください。
- ●本機ではグループ登録できません。
- ●グループの編集（曲の追加･削除･移動など）を行った場合には、グループ機能が正しく動作しなかったり、使えないことがあります。グループ登録しなおしてください。
- ●100 以降のグループは、グループとして認識されません。(グループ選択やグループ名表示ができません。)

聞きたい曲 (グループ) をスピーディに選ぶには

MDLP で多くの曲が録音されているディスクでも、聞きたい曲が簡単に探せます。アルバム/アーティスト/ジャンルごとなどにグループ録音されている場合には、グループを選んで再生できます。

∧ ∨ (GROUP) を押して、曲(グループ)を選ぶ

●押し続けている間、連続して切り替わります。

● グループ録音されている場合
グループ単位でスキップして頭出しする

● グループ録音されていない場合
10 曲スキップして頭出しする
ディスク内の総曲数 (最終曲･先頭曲) を超えたときは、1 曲目から再生されます。

再生中の曲がどのグループにも属していない場合には、先頭グループの 1 曲目 (先頭曲) から再生が始まります。

グループ管理情報について

●グループ機能を搭載していない録音機でも、ディスク名の記録領域へ一定の法則に従ってグループ管理情報を入力することにより、グループ登録できます。(最大 99 グループまで) ●グループ機能未対応の機器で再生した場合には、文字列がそのままディスク名として表示されます。●グループ管理情報が正しいフォーマットで記述できていない場合には、思いどおりにグループ化されなかったり、グループ機能が使えないことがあります。

グループ管理情報 (文字列) の例

0 ; My_BEST//1–5 ; Pops//6–9 ; Rock//…
①　②　③

①......「0 ；」で、ディスク名を認識
②③ ....「数字 – 数字；」で、グループの先頭曲 – 最終曲を認識
※ グループごとの区別、および最後のグループの末尾には、必ず「//」を付ける。

メニューから MD の設定をする

1 MD 再生中に (PUSH MENU) を押す。

2 ∧ ∨ を押して項目を選び、

3 BAND (SET/APM) を押して設定を切り替える。

グループ録音されていない場合には、
- 「G-RAND」「G-REP」の項目が表示されません。
- 「TITLE」の設定内容が異なります。(☞ 下記参照)

例）グループ録音されている場合



順不同に聞く（ランダム）
初期設定〈OFF〉

RAND を選び、
- ON：全ての曲から自動選曲する
- OFF：解除

G·RAND を選び、
- ON：再生中のグループから自動選曲する
- OFF：解除

繰り返し聞く（リピート）
初期設定〈OFF〉

REP を選び、
- ON：再生中の曲を繰り返す
- OFF：解除

G·REP を選び、
- ON：再生中のグループを繰り返す
- OFF：解除

タイトル表示の設定
初期設定〈DISC〉または〈GROUP〉

TITLE を選び、

グループ録音されている場合には、ディスク名を表示できません。

- DISC または GROUP：ディスク名またはグループ名を全角で表示する(漢字･ひらがな表示にも対応)
- TRACK：曲名を全角で表示する(漢字･ひらがな表示にも対応)
- DISC/TRC または GRP/TRC：ディスク名と曲名、またはグループ名と曲名を 2 行で表示する(漢字･ひらがな表示は不可)
- OFF：表示しない

- ●表示できない文字は「?」と表示されます。
- ●使用したレコーダーによっては、正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- ●グループ名が記録されていないときは、先頭曲番号–最終曲番号が表示されます。(例:1–12)
- ●**「NO TITLE」と表示されたときは…**
  情報が記録されていません。
- ●**「OUT OF GROUP」と表示されたときは…**
  再生中の曲がどのグループにも属していません。

スクロールの設定
初期設定〈OFF〉

TITLE SCROLL を選び、

末尾まで表示できる文字数の場合には、スクロールしません。

- ON：繰り返しスクロールする
- OFF：一周スクロールしたあと、静止する

●**設定 OFF のときに、一周だけスクロールさせるには**
タイトル表示中に BAND を 2 秒以上押す

お知らせ

- ●設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
- ●設定を続けるときは、❷ に戻って項目を選んでください。
- ●**通常画面に戻すには…**
  DISP または (PUSH MENU) を押す

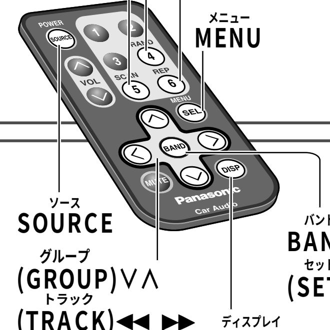
リモコンダイレクト設定

ランダム / スキャン* / リピートは、リモコンのボタン一つで操作できます。

メニューが表示されていないときに
RAND 4 / SCAN 5 / REP 6 **を押す**
(再度押すと、解除)

＊ **曲を探す** (スキャン)　リモコンのみ
全ての曲を約 10 秒ずつ再生する
●一周すると解除されます。

2 秒以上押すと、グループランダム / グループリピートになります。 グループスキャン機能はありません。
(再度 2 秒以上押すと、解除)

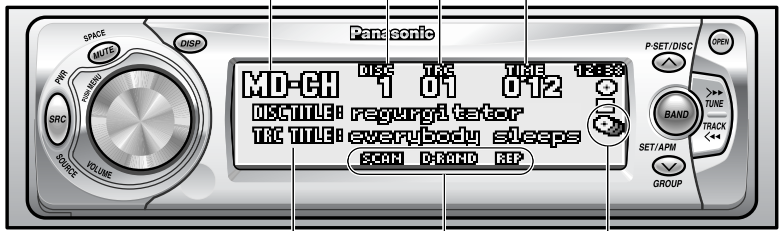


使いかた

チェンジャーで CD/MD を聞く

チェンジャー（CD または MD）　曲番号
ディスク番号　曲の再生経過時間

例）モード＋タイトル表示



タイトル　各設定が ON のときに点灯　チェンジャーが接続されているときに点灯

準備　CD チェンジャーや MD チェンジャーを接続し、マガジン（ディスク）を入れてください。（☞44 ページ）

❶ SRC を押して、チェンジャーモードにする

●再生が始まります。

「NO DISC」と表示されたときは…
→ ディスクを入れてください。

❷ P·SET/DISC ∧ ∨ を押して、ディスクを選び

❸ TUNE/TRACK を押して、曲を選ぶ

早送り/早戻しするには
0.5 秒以上押し続ける

●押し続けている間、早送り/早戻しされます。

お知らせ

● CD チェンジャー：CD-R は機種により使用できないものがあります。CD-RW は使用できません。MP3 には、対応しておりません。
● MD チェンジャー：MDLP には対応していません。（無音で再生されます）

ディスクの取り扱いについては、34 ～ 35 ページをお読みください。

チェンジャーを 2 台使う場合は（ツインチェンジャー）

準備　ツインチェンジャーコントロールユニット（CA-LA9D）で、CD チェンジャーや MD チェンジャーを 2 台接続する。（☞44 ページ）

BAND を押して、チェンジャーを切り替える



チェンジャー番号

お知らせ

●チェンジャーにマガジン（ディスク）が入っていないときは、切り替わりません。
●前回電源を切ったときに選択されていたチェンジャーにマガジン（ディスク）を入れると、電源が入ります。

メニューからチェンジャー（CH）の設定をする

❶ チェンジャー再生中に MENU を押す。

CD チェンジャーは、タイトル（CD テキスト）を表示できません
・「TITLE」「TITLE SCROLL」の項目が表示されません。

❷ ∧ ∨ を押して項目を選び、

例）MD チェンジャーの場合



❸ BAND を押して設定を切り替える。

SET/APM

順不同に聞く（ランダム）　初期設定〈OFF〉

RAND を選び、	ON	：全ての曲から自動選曲する
	OFF	：解除
D·RAND を選び、	ON	：再生中のディスクから自動選曲する
	OFF	：解除

繰り返し聞く（リピート）　初期設定〈OFF〉

REP を選び、	ON	：再生中の曲を繰り返す
	OFF	：解除
D·REP を選び、	ON	：再生中のディスクを繰り返す
	OFF	：解除

タイトル表示の設定　初期設定〈ON〉

TITLE を選び、（MD チェンジャーのみ）

ON　ディスク名と曲名を 2 行で表示する（漢字・ひらがな表示：不可）
OFF　表示しない

●表示できない文字は「?」が表示されます。
●使用したレコーダーによっては、正しく表示されない場合があります。

お知らせ

●「NO TITLE」と表示されたときは…情報が記録されていません。

スクロールの設定　初期設定〈OFF〉

TITLE SCROLL を選び、（MD チェンジャーのみ）

末尾まで表示できる文字数の場合には、スクロールしません。

ON　：繰り返しスクロールする
OFF　：一周スクロールしたあと、静止する

●**設定 OFF のときに、一周だけスクロールさせるには**
タイトル表示中に BAND を 2 秒以上押す

お知らせ

●設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
●設定を続けるときは、❷ に戻って項目を選んでください。
●**通常画面に戻すには…**
DISP または MENU を押す

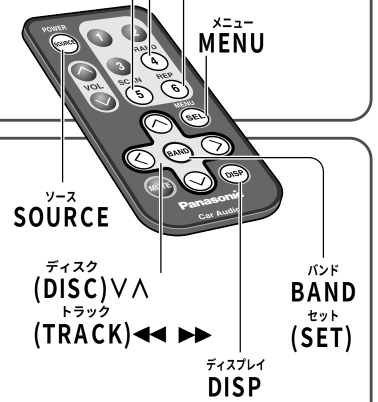
リモコンダイレクト設定

ランダム / スキャン* / リピートは、リモコンのボタン一つで操作できます。

メニューが表示されていないときに
RAND ❹ / SCAN ❺ / REP ❻ を押す
（再度押すと、解除）

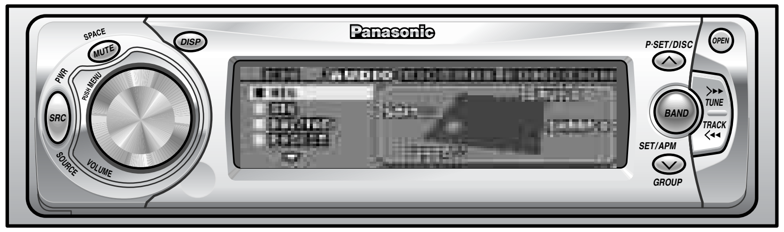
2 秒以上押すと、ディスクランダム / ディスクスキャン* / ディスクリピートになります。
（再度 2 秒以上押すと、解除）

＊ **曲を探す**（スキャン）　リモコンのみ
全ての曲 / ディスクの一曲目だけを約 10 秒ずつ再生する
●一周すると解除されます。



使いかた

音質調整（AUDIO）



お知らせ
- 設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
- 設定を続けるときは、❷ に戻って項目を選んでください。
- **通常画面に戻すには…**
  DISP または PUSH MENU を押す

❶ メニューを選ぶ
PUSH MENU を押して、TUNE/TRACK で切り替える

再生中のソース — AUDIO — PICTURE — FUNCTION

❷ 項目を選ぶ
① ∧ ∨ で切り替えて
② BAND（SET/APM）を押す

❸ 設定する
① ∧ ∨ と TUNE/TRACK で調整し、
② BAND（SET/APM）を押す

音質調整

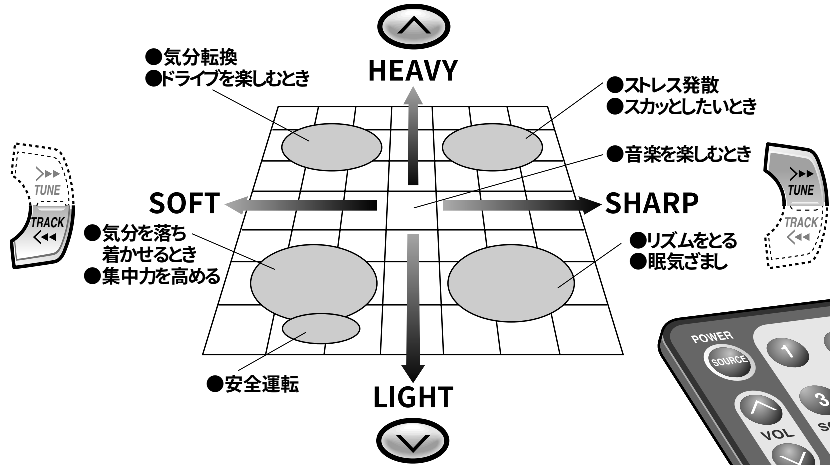
音楽や気分に合った音質を選ぶ
（ヒューマンイコライザー）

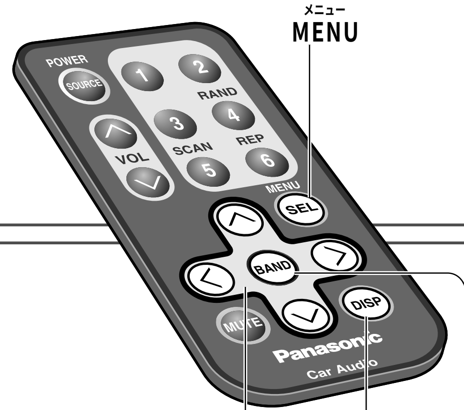
複雑な調整をしなくても、パターンを選ぶだけで音質を設定できます。

初期設定：FLAT（すべて 0）
調整範囲：各 1 ～ 3（49 パターン）
　縦軸.....低音域の豊かさ
　横軸.....高音域の明快さ

● 設定すると、インジケータ画面に「EQ」が表示されます。

AUDIO から → HEQ を選び





周波数バンドごとにレベルを調整する
（グラフィックイコライザー）

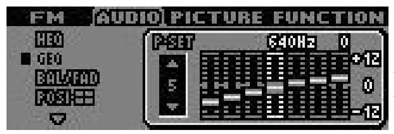
各周波数帯域（7 バンド）のレベルを調整し、5 種類まで記憶させることができます。

初期設定：FLAT（各周波数とも 0 dB）
調整範囲：－ 12 ～＋ 12 (dB) / 2 dB ごと

● 設定すると、インジケータ画面に「EQ」が表示されます。

プリセット番号「6」には、上書きできません。
おすすめの設定（こもりやすい低音域をカットした聞きやすい音質）が記憶されています。

AUDIO から → GEQ を選び



レベル (dB)
周波数バンド (Hz)

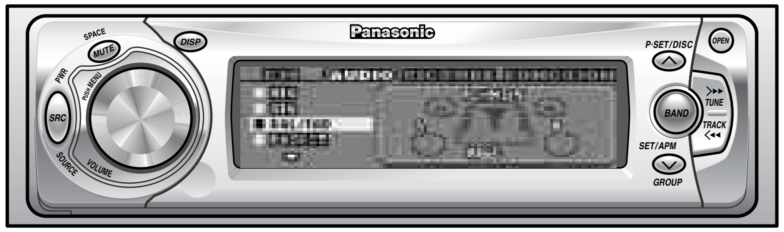
プリセットメモリの呼び出しをするときは、カーソルを「P･SET」に移動させてください。

● 記憶させるには（GEQ プリセットメモリ）
GEQ 調整画面で、
① ∧∨ を押してプリセット番号（1 ～ 5）を選び、
② TUNE/TRACK と ∧∨ を押してレベルを調整する。
● 調整したレベルが記憶されます。

● 呼び出すには
GEQ 調整画面で、
∧∨ を押してプリセット番号（1 ～ 6）を選ぶ。

お知らせ
- **リモコンの 1 〜 6（プリセットボタン）では、GEQ プリセットメモリや呼び出しができません。**
- GEQ プリセットメモリは、操作をするたびに更新されます。

音質調整（AUDIO）



お知らせ

- 設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
- 設定を続けるときは、❷に戻って項目を選んでください。
- **通常画面に戻すには…**
  DISP または PUSH MENU を押す

❶ メニューを選ぶ

PUSH MENU を押して、TUNE/TRACK で切り替える

再生中のソース — AUDIO — PICTURE — FUNCTION

❷ 項目を選ぶ

① ∧ ∨ で切り替えて
② BAND（SET/APM）を押す

❸ 設定する

① ∧ ∨ で項目を選択し（調整は ∧ ∨ と TUNE/TRACK ）
② BAND（SET/APM）を押す

音質調整

❶：**AUDIO** から

左右前後のスピーカーの音量バランスを調整する
（バランス/フェダー）

初期設定： 0（センター）
調整範囲：各 15 ステップ

❷：**BAL/FAD** を選び

❸：
- **FAD（フェダー）**
  - ∧（FRONT）：前方
  - ∨（REAR）：後方
- **BAL（バランス）**
  - TUNE（RIGHT）：右側
  - TRACK（LEFT）：左側

乗車位置に合わせて音像を調整する
（シートポジション）

初期設定： OFF
- 設定すると、インジケータ画面に「POSI」が表示されます。

❷：**POSI** を選び

❸：
- RIGHT：前席･右のみ
- LEFT：前席･左のみ
- FRONT：前席
- REAR：後席
- OFF：全席

リヤースピーカーをサブウーファーとして活用する
（スーパーベースコントロール･サブウーファー）

初期設定： OFF / STEREO

❷：**SBC SW** を選び

❸：
- OFF/STEREO：通常の出力のまま〈ステレオ〉
- ON/MONO：サブウーファー用(低音域のみ)の出力になる〈モノラル〉

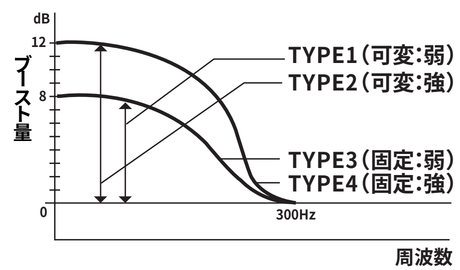
「ON」にした場合は
- 出力レベル･ディレイ時間･カットオフ周波数は、「DDBC SUB-W」で調整してください。(☞26 ページ)
- リヤースピーカーの出力に対する、BAL/FAD･POSI･SDBB･SPACE の設定が無効になります。

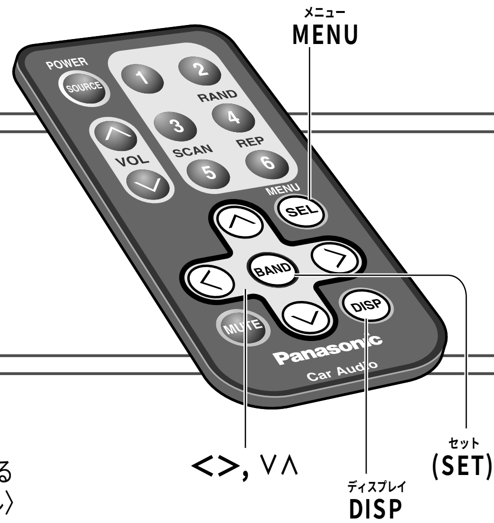
低音域を増強する
（スーパーダイナミックバスブースト）

内蔵アンプ接続の 4 スピーカーから出力される低音を増強して，重低音が楽しめます。
初期設定： OFF

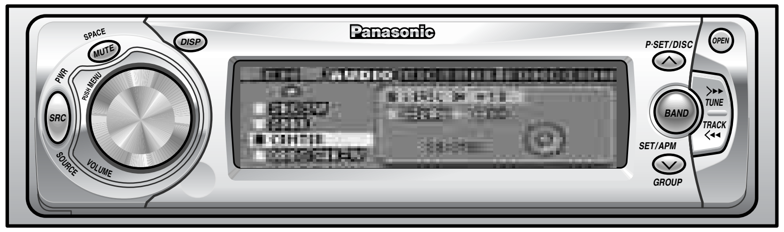
❷：**SDBB** を選び

❸：
- TYPE 1：可変・弱
- TYPE 2：可変・強
- TYPE 3：固定・弱
- TYPE 4：固定・強
- OFF：低音域を増強しない(通常)





使いかた



お知らせ
- 設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
- 設定を続けるときは、❷に戻って項目を選んでください。
- **通常画面に戻すには…**
  DISP または PUSH MENU を押す

❶ メニューを選ぶ

PUSH MENU を押して、TUNE/TRACK で切り替える

再生中のソース — AUDIO
FUNCTION — PICTURE

❷ 項目を選ぶ

① ∧ ∨ で切り替えて
② BAND (SET/APM) を押す

❸ 設定する

① ∧ ∨ で切り替えて、TUNE/TRACK で調整する。
② BAND (SET/APM) を押す

音質調整

センタースピーカーの出力を調整する
（センターコントロール）

初期設定：LEVEL ....0 (dB)
DELAY ....0 (ms)

- DELAY を調整すると、インジケータ画面に「DELAY」が表示されます。

準備
- 外部アンプ、およびセンタースピーカー(別売)を接続してください。(☞43 ページ)

調整する前に、DSP 効果のない状態に戻してください。(右頁参照)

AUDIO から

CENTER を選び

■ **LEVEL：音量レベルを調整する**
調整範囲：− ∞、− 10 〜+ 10 (dB) / 2 dB ごと
「+」：音量が大きくなる
「−」：音量が小さくなる
− ∞ ：センタースピーカーから音が出なくなる

■ **DELAY：ディレイ時間（音の出るタイミング）を調整する**
調整範囲：− 10 〜+ 10 (ms) / 1 ms ごと　※ 1 ms = 0.001 秒
0　：他のスピーカーと出力のタイミングが同じになる
「+」：他のスピーカーよりも、出力が遅くなる
「−」：他のスピーカーよりも、出力が早くなる

センター調整の手順

準備
- **音場の設定を「SPACE OFF」にする**
  (スペース ☞32 ページ)
- **音場空間の広がりを「0」にする**
  (ワイド/ナロウ ☞32 ページ)

① **センタースピーカーの音量レベルを調整する**
ヴォーカルなどの中音域の音像が、フロントの中央付近に定位するように調整してください。

② **音場･音場空間の広がり(DSP 効果)を調整する**

③ **再度、センタースピーカーの音量レベルを調整する**
DSP 効果(音場、音場空間の広がり)に合わせてディレイ時間を調整し、音量レベルを、再調整してください。

サブウーファーの出力を調整する
（デジタルダイナミックベースコントロール）

初期設定：LEVEL ....0 (dB)
DELAY ....0 (ms)
LPF ....OFF

- LEVEL、LPF を調整すると、インジケータ画面に「SUB-W」が表示されます。
- DELAY を調整すると、インジケータ画面に「DELAY」が表示されます。

準備
- 外部アンプ、およびサブウーファー(別売)を接続してください。(☞43 ページ)

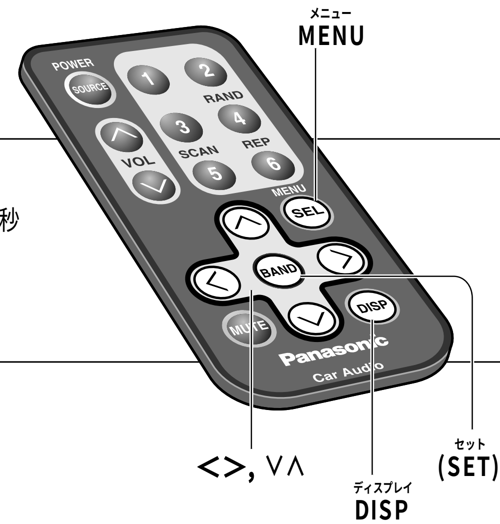
外部アンプに内蔵されている調整機能を使用する場合は
本機のディレイ時間を「0 ms」、カットオフ周波数を「OFF」にしてください。

DDBC SUB-W を選び

■ **LEVEL：音量レベルを調整する**
調整範囲：− ∞、− 10 〜+ 10 (dB) / 2 dB ごと
「+」：音量が大きくなる
「−」：音量が小さくなる
− ∞ ：サブウーファー（アンプ）から音が出なくなる

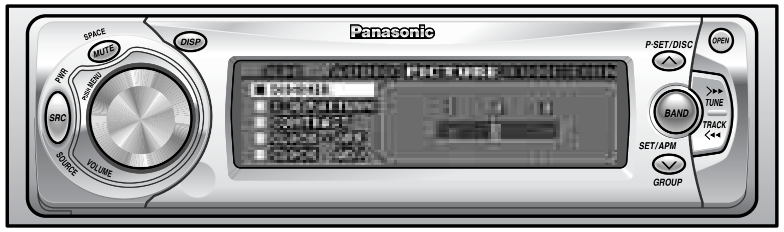
■ **DELAY：ディレイ時間を調整する**
調整範囲：− 10 〜+ 10 (ms) / 1 ms ごと　※ 1 ms = 0.001 秒
0　：他のスピーカーと出力のタイミングが同じになる
「+」：他のスピーカーよりも、出力が遅くなる
「−」：他のスピーカーよりも、出力が早くなる

■ **LPF：カットオフ周波数を調整する**
調整範囲：4 段階（OFF 含む）
OFF：高音域をカットしない
100 Hz　150 Hz　200 Hz：高音域をカットする



使いかた

画面設定（PICTURE）



お知らせ
- 設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
- 設定を続けるときは、❷に戻って項目を選んでください。
- **通常画面に戻すには…**
  DISP または PUSH MENU を押す

❶ メニューを選ぶ
PUSH MENU を押して、TUNE/TRACK で切り替える

再生中のソース — AUDIO
FUNCTION — PICTURE

❷ 項目を選ぶ
① ∧ ∨ で切り替えて
② BAND（SET/APM）を押す

❸ 設定する
① TUNE/TRACK で項目を選択し ② BAND（SET/APM）を押す

※時計の「表示」「調整」は、設定の操作が異なります。下記をご覧ください。

画面設定

PICTURE から

表示(バックライト)の明るさを選ぶ
（ディマー設定）
初期設定：車のスモールランプ点灯時 ..DIMMER 2
車のスモールランプ消灯時 ..DIMMER 3
設定範囲：3 段階
準備 イルミネーションコードを接続してください。（☞42 ページ）

DIMMER を選び

- 1：暗い
- 2：中間の明るさ
- 3：明るい
- 車のスモールランプ点灯時 / 消灯時それぞれの明るさを設定してください。

スペアナ表示のパターンを切り替える
（スペアナパターン）
初期設定：A
調整範囲：6 種類

S･A PATTERN を選び

- A：立方体が変化していく表示
- B：球体が変化していく表示
- C：サッカーをイメージした表示
- D：文字や数字が上下･左右･前後に流れていく表示
- E：サーキットをイメージした表示
- STD：スタンダードなスペアナの表示（15 バンド）
- スペアナを表示させるには、画面表示を切り替えてください。（☞13 ページ）

表示のコントラストを選ぶ
初期設定：3
調整範囲：1 ～ 5（5 段階）

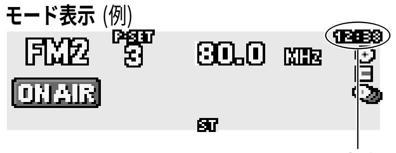
CONTRAST を選び

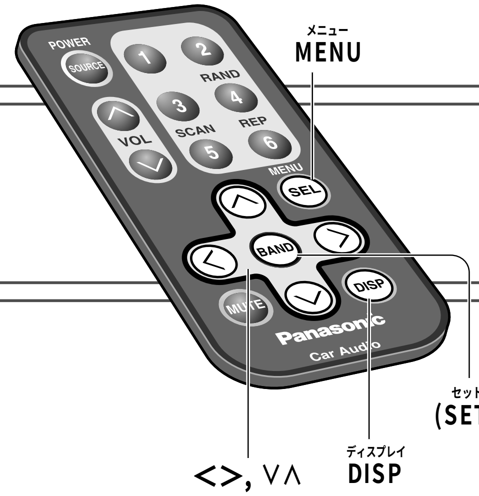
1 2 3 4 5
- 取り付けた位置や角度に応じて、表示が見やすくなるように調整してください。

モード表示に時計を表示する/しないを選ぶ
初期設定：ON
（未調整のとき「– – : – –」の表示）

CLOCK - OFF：時計を表示する
CLOCK - ON：時計を表示しない
BAND（SET/APM）を押すごとに、切り替わります。

モード表示 (例)





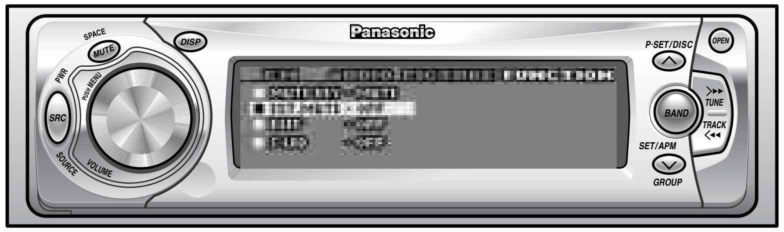
時計を調整する
初期設定：未調整のとき「0：00」
（24 時間表示）

CLOCK ADJ を選び

① TUNE/TRACK（分/時間）と ∧（進む）∨（戻る）で調整し、 ② BAND（SET/APM）を押して決定する
- 秒が 0 になり、時計が動きはじめます。

使いかた

機能設定（FUNCTION）



お知らせ
- 設定以外の操作は、通常画面に戻してから行ってください。
- 設定を続けるときは、❷に戻って項目を選んでください。
- **通常画面に戻すには…**
  DISP または PUSH MENU を押す

❶ メニューを選ぶ

PUSH MENU を押して、TUNE/TRACK で切り替える

再生中のソース — AUDIO — PICTURE — FUNCTION

❷ 項目を選ぶ

∧ ∨ で切り替えて

❸ 設定する

BAND (SET/APM) を押す
- 押すごとに、設定が切り替わります。

機能設定

FUNCTION から

MUTE ボタンを押したときの音量の下がりかたを選ぶ
（ミュート/アッテネータ設定）
初期設定： MUTE

MUTE KEY を選び

- **MUTE** ： 0 になる（消音）
- **ATT** ： 10 ステップ下がる（約 1/10）

カーナビ音声案内中の本機の音量を設定する
（ナビミュートレベル設定）
初期設定： LV 0

準備 ナビミュートコードを接続してください。（☞45 ページ）

EXT. MUTE を選び

- **LV 0** ：本機の音量が、0 になる（消音）
- **LV 1** ：本機の音量が、15 ステップ下がる（約 1/30）
- **LV 2** ：本機の音量が、10 ステップ下がる（約 1/10）
- **OFF** ：通常の音量のまま → 音量調整可
- 音声案内時には、ナビミュートの設定値が表示されます。（設定 OFF 除く）

（例）MUTING LV 0

ボタンを押した音（操作音）を出す / 出さないを選ぶ
（ビープ音設定）
初期設定： ON

BEEP を選び

- **ON** ：操作音を出す
- **OFF** ：操作音を出さない

セキュリティ機能を使用する/しないを選ぶ
（セキュリティ設定）
初期設定： ON

S·LED を選び

- **ON** ：セキュリティ機能を使用する
- **OFF** ：セキュリティ機能を使用しない

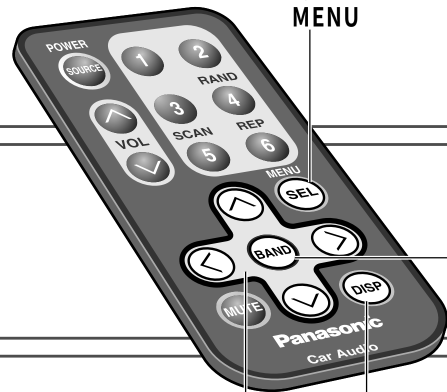
セキュリティ機能

ACC（アクセサリ電源）を OFF にしたときに
- セキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れアラームが鳴る

パネルを取りはずすと
- 盗難防止用の LED が赤く点滅する（☞33 ページ）

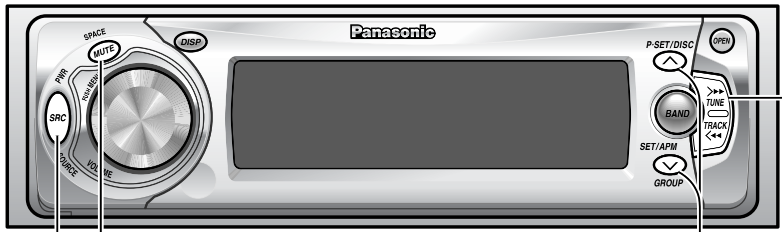
PLEASE REMOVE PANEL

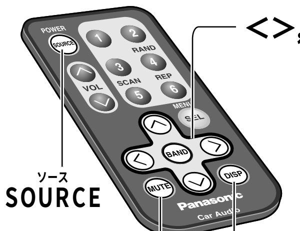
セキュリティメッセージ



使いかた

音場設定、外部機器





音場を設定する

- **音場設定（スペース）**
- **音場の広がり（ワイド/ナロウ）**

実際に演奏会場にいるような音場(スペース) を車室内に再現できます。また、設定した音場に対して空間の広がりを調整できます。

初期設定：音場 ...SPACE OFF
広がり ..0

設定範囲：音場 ...7 種類＋「OFF」
広がり ..－3 ～＋3

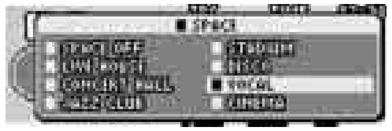
- 設定すると、インジケータ画面に「SPACE」が表示されます。

モードごと (ラジオは AM･FM ごと) に設定できます。

SPACE MUTE を 2 秒以上押して、音場設定画面にする

● **音場を設定するには（スペース）**

∧ ∨ を押して、切り替える

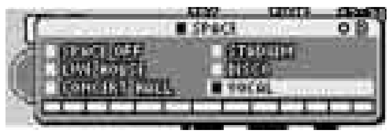


SPACE OFF	LIVE HOUSE	CONCERT HALL
CINEMA		JAZZ CLUB
VOCAL	DISCO	STADIUM

● **空間の広がりを調整するには（ワイド/ナロウ）**

TUNE「＋」：広がる（WIDE）

TRACK「－」：狭まる（NARROW）



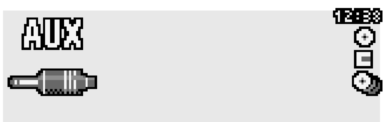
お知らせ

● **通常画面に戻すには…** DISP を押す

外部機器の音声を聞く

準備 外部音声入力端子(AUX IN)にテレビの音声等を接続する。(☞45 ページ)

SRC を押して、AUX モードにする



パネルを脱着する デタッチャブルフェイス

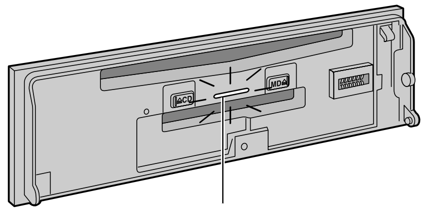
車から離れるときにパネルを取りはずすと、ユニットの盗難を防ぐことができます。

● **パネルを取りはずしたままでは電源が入らず、操作できません。**

● **セキュリティ設定を ON にしておくと**（☞30 ページ）

ACC（アクセサリ電源）を OFF にしたときに
- セキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れアラームが鳴る

パネルを取りはずすと
- 盗難防止用の LED が赤く点滅する

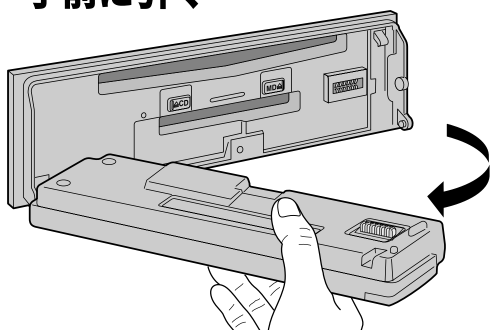


取りはずしかた

❶ SRC を 1 秒以上押して、電源を切る

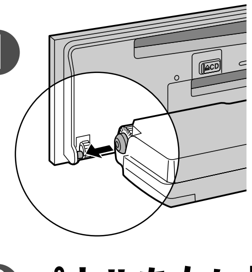
❷ 本体の OPEN を押して、パネルを開く

❸ パネルを左に押しながら、手前に引く

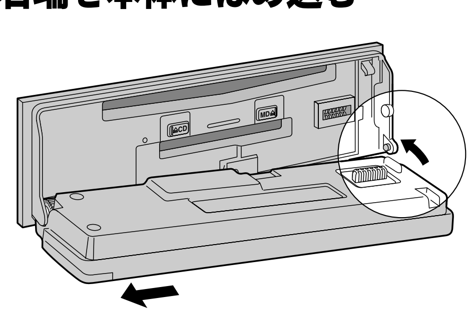


取り付けかた

❶ パネルの左端を本体に差し込む



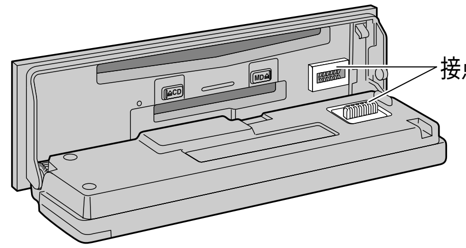
❷ パネルを左に押しながら、右端を本体にはめ込む



❸ パネルを閉める

お願い

- パネルは防水されていません。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。
- 気温が上がるダッシュボードやその周辺に、パネルを置かないでください。
- 本体とパネルの接点には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。



使いかた

ディスクの取り扱いについて / お手入れのしかた

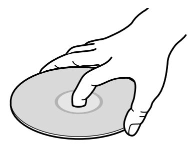
CD（コンパクトディスク）

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークがついているものを、ご使用ください。

お知らせ
- データを読み取って再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。

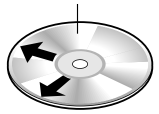
持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



CD が汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



取り扱いのお願い

CD そのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CD が回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CD を曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

⚠ 注意

特殊形状の CD や CD アクセサリーは使用しない

禁止

特殊形状(ハート型・八角形・カード型など)の CD や、プロテクトフィルム・スタビライザーなどの CD アクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けた CD は使用しない

禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に、市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けた CD-R/RW は、使用しないでください。

CD-R/RW ディスクのご使用について

再生可能な CD-R/RW ディスクは、通常の音楽 CD の形式(CD-DA)で記録したディスクに限ります。

- CD レコーダー(CD-R/RW ドライブ)で記録した CD-R/RW ディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RW ディスクは通常の音楽 CD に比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていない CD-R/RW ディスクは再生できません。
- CD-DA 以外のデータ（ビデオ CD や MP3 など）は、再生できません。

コピーコントロール CD について

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽 CD が発売されています。これは、現状 CD 規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。
通常の CD を用いた再生には支障がなく、コピーコントロール CD を用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロール CD の発売元にお問い合わせください。

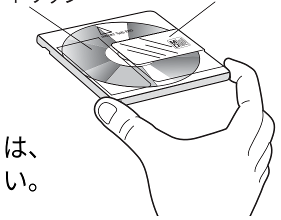
MD（ミニディスク）

- 録音済みの音楽用 MD をご使用ください。

お知らせ
- データを読み取って再生が始まるまでに、若干時間がかかる場合があります。

MD が汚れたら

カートリッジの表面に汚れやゴミがついたときは、乾いた布で拭いてください。



シャッターに手・指を触れないでください。
再生後、高温になることがあります。

取り扱いのお願い

MD そのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- シャッターを開けない
  無理に開けると破損することがあります。
  中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らない
- ラベルのはがれかかった MD は使用しない
  本機の中で引っかかるなど、故障の原因になります。
- **CD の挿入口に、MD を入れない**
- **MD の方向と表裏を確認して挿入する**
  無理に入れると、故障の原因になります。

ディスク（CD, MD）の保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のあるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利者の許諾を得ないでディスクに複製 (録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

本機のお手入れについて

本機が汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

故障かな!?

● 電源・共通

症　状	チェック項目・処置	ページ
電源が入らない	●車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) ●各コードの接続を確かめてください。 ●本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 → お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換を依頼してください。	12 42～45 39
音が出ない	●音量を上げてください。 ●ミュートが「ON」になっている。→「OFF」にしてください。 ●結露している。→ しばらく放置してから使用してください。 ●各コードの接続を確かめてください。 ナビミュートコードを接続しないときは、キャップ（ビニールテープ）で絶縁してください。	12 12 38 42～45
音声のみで、表示が出ない	●画面表示が「全画面消灯」になっている。 →他の表示に切り替えてください。	12
ボタンを押しても、各ソースの操作ができない	●各種設定画面が表示されている。 →設定画面を通常モードに戻してから操作してください。	－
雑音が出る	●携帯電話などを本機から離してください。	－
表示と音声が異なっている	●表示を切り替えて、デモンストレーションを解除してください。	12

● リモコン

症　状	チェック項目・処置	ページ
ボタンを押しても動作しない	●電池の極性(＋)(－)をお確かめください。 ●電池が消耗している。→　交換してください。 ●リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10

● ラジオ

症　状	チェック項目・処置	ページ
FM ステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	●ラジオアンテナが十分に伸びているかを確かめてください。 ●オートアンテナコントロールコードの接続を確かめてください。 ●放送局の電波が弱い。→ 放送局を変えてください。	－ 42 14

● CD / MD

症　状	原　因　と　処　置	ページ
ディスクを入れても音が出ない、または自動的に排出される	●ディスクを正しい面と向きで入れなおしてください。 ●ディスクの汚れをクリーニングしてください。 ●音楽用の(録音されている)ディスクを使用してください。	16，18 34，35 34，35
音質が悪い（音がとぶ）	●ディスクの汚れをクリーニングしてください。 ●振動により音がとぶ →角度を 30 ゜以内に調整し､しっかり取り付けてください。	34，35 40
CD テキストが正しく表示されない	●CD の汚れをクリーニングしてください。	34
CD を入れても音が出ない（再生経過時間は表示されている）	●MP3 ファイルを再生した。 ●ミックスモードのディスクの第 1 トラックを再生した。 （ミックスモードとは、第 1 トラックに音楽以外のデータ、第 2 トラック以降に音楽データが、1 セッションで記録されているフォーマットです。） →第 2 トラック以降の音楽データを再生してください。	34 －
MD 再生時にグループ選択ができない、正しくグループ化されない	●グループ登録されていない。 ●グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないと、思ったとおりにグループ化されなかったり、グループ機能が使えない場合があります。 →グループ機能を使って録音してください。グループ管理情報を入力してグループ登録した場合には、もう一度フォーマットを確かめてください。	18

● 音質・画面調整

症　状	原　因　と　処　置	ページ
左右前後の何れかの音が出ない	●BAL/FAD で、左右前後のバランスを調整してください。 ●各コードの接続を確かめてください。	24 42～45
ステレオのとき、左右の音が逆になる	●スピーカーコードの接続を確かめてください。	42
センタースピーカー(別売)から音が出ない	●センタースピーカーの音量レベルが－ ∞ dB に設定されている。 → － ∞ dB 以外にしてください。	26
リヤースピーカーから低音、またはモノラル音声しか出ない	●SBC SW が「ON」に設定されている。 →「OFF」にしてください。	24
リヤースピーカー、プリアウト〈リヤー〉から音が出ない	●SBC SW が「ON」で、DDBC SUB-W の音量レベルが－ ∞ dB に設定されている。 → DDBC の音量レベルを－ ∞ dB 以外にしてください。	24，26
プリアウト〈サブウーファー〉から音が出ない	●DDBC SUB-W の音量レベルが－ ∞ dB に設定されている。 → － ∞ dB 以外にしてください。	26

故障かな!?

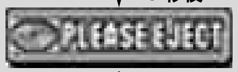
こんな表示が出たときは

表示・症状	原因・処置

● CD



↓ 5 秒後



↓ 5 秒後

電源が切れる

※ディスクを取り出すまで、繰り返し表示します。

E1 / E2 エラーのとき
- ● ディスクが汚れている、裏返しになっている。
- ● ディスクが音楽用でない、録音されていない。
- ● ディスクにキズが付いている。

→ディスクを取り出し、確かめてください。

E3 エラーのとき
- ● 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。

イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、または ACC 電源を入れなおしてください。

→動作しない場合には、リセットスイッチを押してください。
→それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。

● MD



↓ 5 秒後



↓ 5 秒後

電源が切れる

※ディスクを取り出すまで、繰り返し表示します。

E1 / E2 エラーのとき
- ● ディスクが汚れている、裏返しになっている。
- ● ディスクが音楽用でない、録音されていない。
- ● ディスクにキズが付いている。

→ディスクを取り出し、確かめてください。

E3 エラーのとき
- ● 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。

イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、または ACC 電源を入れなおしてください。

→動作しない場合には、リセットスイッチを押してください。
→それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。

こんなときは故障ではありません

結露について

● 雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部(CD プレーヤー/MD プレーヤー)の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して 1 時間ほど放置し、自然に露がとれるのをお待ちください。

表示・症状	原因・処置

● チェンジャー

例) CD チェンジャーの場合



電源が切れる

※ディスクを取り出すまで、繰り返し表示します。

E1 / E2 エラーのとき
自動的に次のディスクへ切り替わります。
- ● ディスクが汚れている、裏返しになっている。
- ● ディスクが音楽用でない、録音されていない。
- ● ディスクにキズが付いている。

→ディスクを取り出し、確かめてください。

E3 エラーのとき
- ● 何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。

チェンジャーのイジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、または ACC 電源を入れなおしてください。

→動作しない場合には、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。
→それでも正常に戻らない場合には、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。



- ● マガジンにディスクが入っていない。

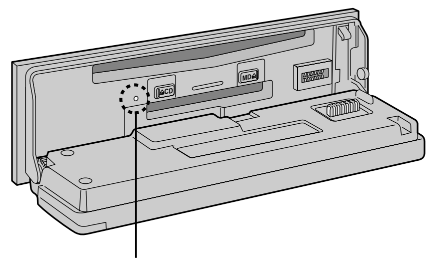
→ディスクを入れてください。

どのボタンを押しても動作しない場合には

リセットスイッチを、折れにくい棒状のもので、まっすぐに押してください。

● 瞬時に電源が切れて出荷時の状態に戻り、デモンストレーションが表示されます。電源を入れてから、もう一度、設定･調整しなおしてください。

リセットしても正常に戻らない場合には
お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。



リセットスイッチ

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

必要なときに

取り付け・配線の前に

⚠ 警告

分解・修理、および改造をしない


分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

● 配線関係

品　名	個数
電源コード	1

● 取り付け関係

品　名	個数
バインドねじ（M5 × 6 ㎜）	4
皿ねじ（M5 × 6 ㎜）	4
スペーサー	2
両面テープ	2

作業の順序

❶ **バッテリーの ⊖ 端子をはずす**

❷ **配線する**（☞42 ～ 45 ページ）

- **他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。**
- **ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。**

❸ **輸送用金具をはずして、取り付ける**
（☞40 ～ 41 ページ）

❹ **バッテリーの ⊖ 端子を、もとに戻す**

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



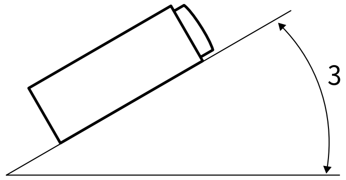
配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け部の寸法・角度の確認

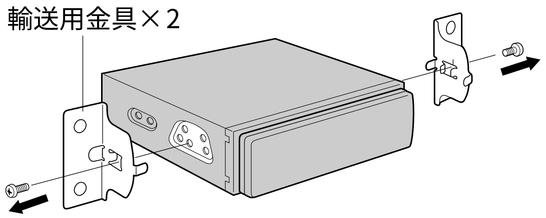
● 車種（ダッシュボードの形状や寸法）によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

オーディオスペースが DIN サイズ(横 180 ㎜、縦 50 ㎜)、または 2DIN サイズ(横 180 ㎜、縦 100 ㎜)でない場合には、販売店に相談してください。

● 水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



取り付ける前に、
輸送用金具をはずしてください



取り付けかた

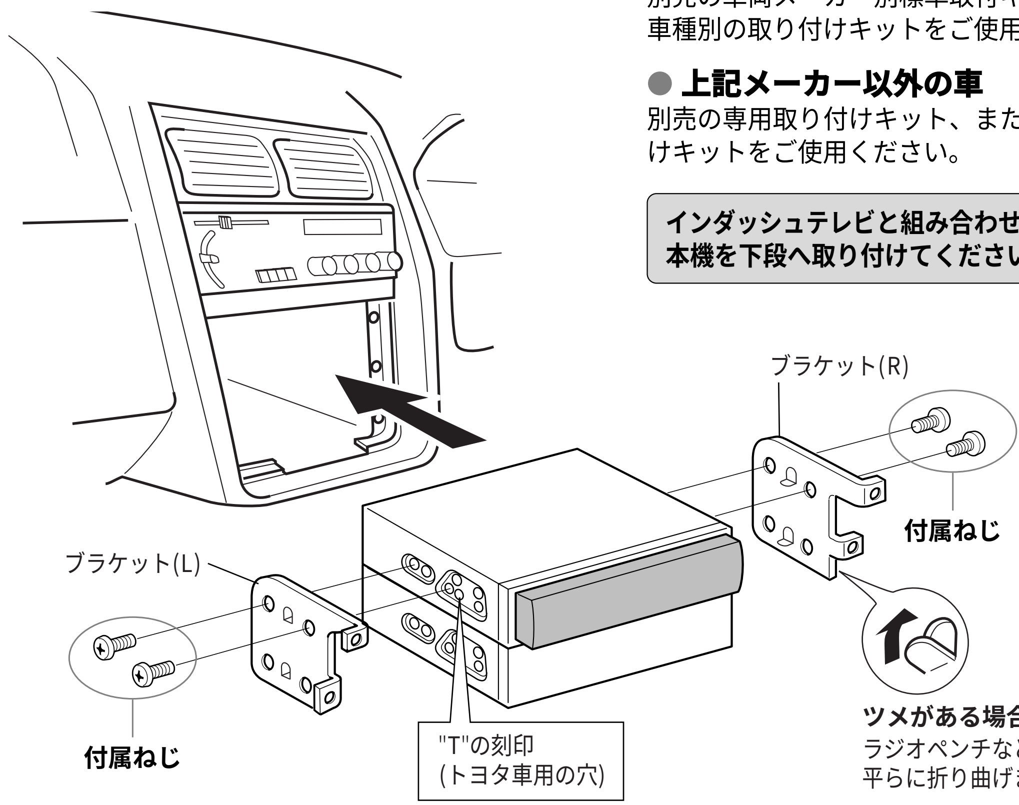
使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

● トヨタ車（DIN サイズ採用車）
純正のカーステレオを固定していたブラケットをご使用ください。

● 日産・本田・三菱車（DIN サイズ採用車）
別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。

● 上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

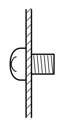
インダッシュテレビと組み合わせる場合には、本機を下段へ取り付けてください。

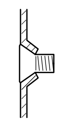


〈トヨタ車の場合〉

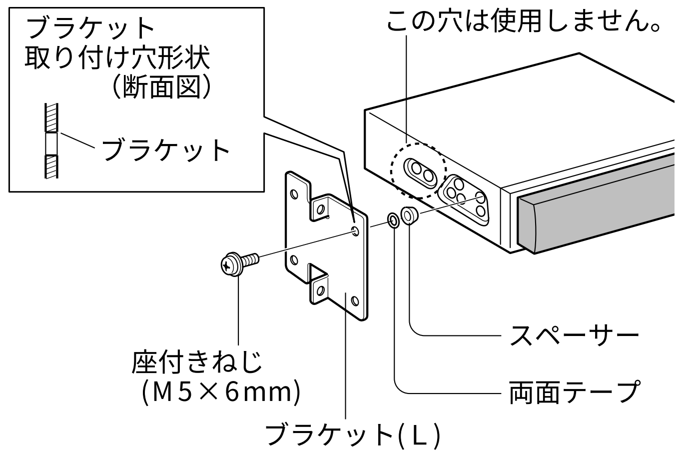
お願い

● 付属ねじは、取付金具（ブラケット）の穴形状に合わせて選んでください。


● **バインドねじ**(4 本)


● **皿ねじ**(4 本)

ブラケットが不安定な場合には
スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



必要なときに

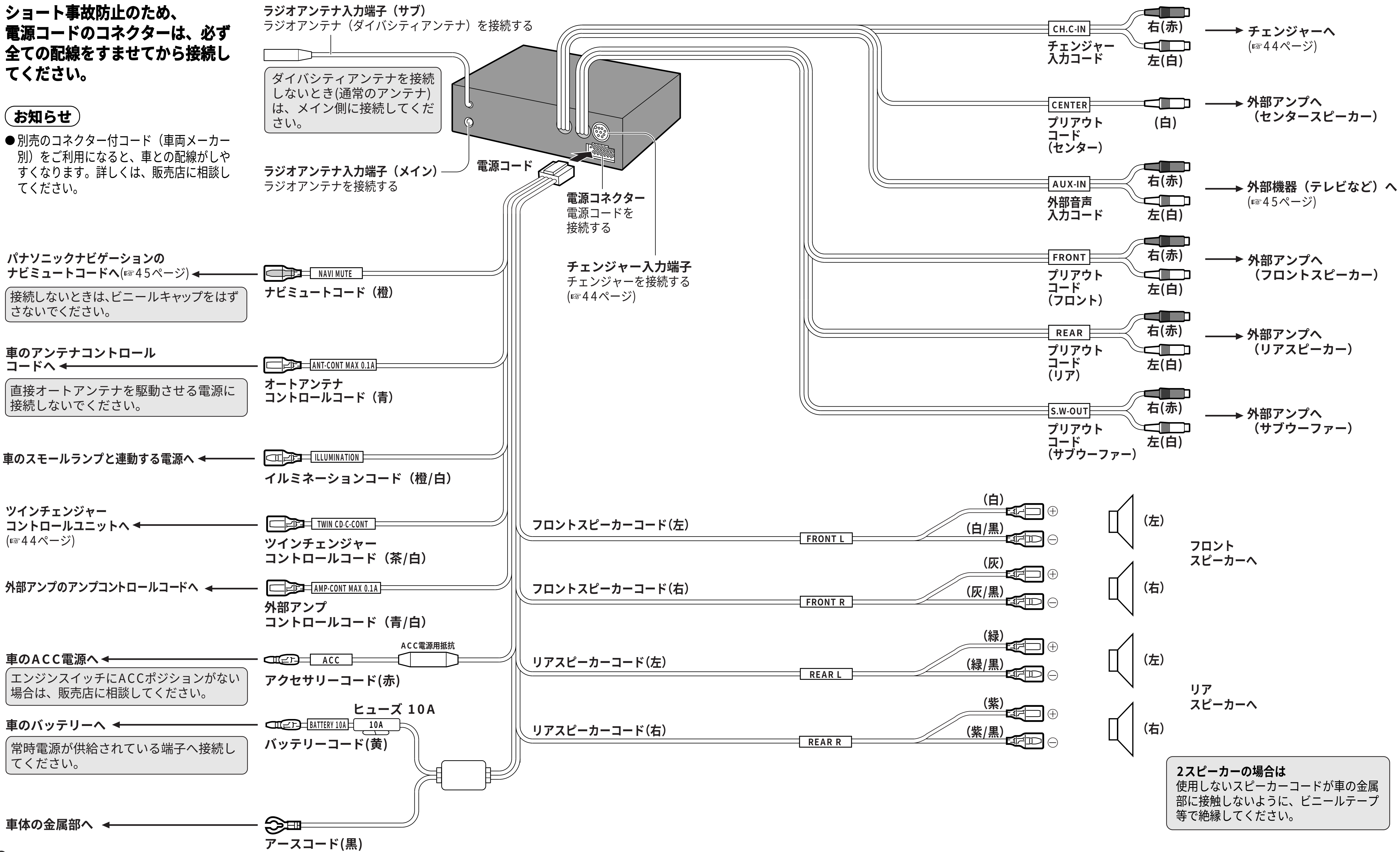
配線のしかた

基本配線（付属コードの接続）

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

お知らせ

- 別売のコネクター付コード（車両メーカー別）をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店に相談してください。



2スピーカーの場合は
使用しないスピーカーコードが車の金属部に接触しないように、ビニールテープ等で絶縁してください。

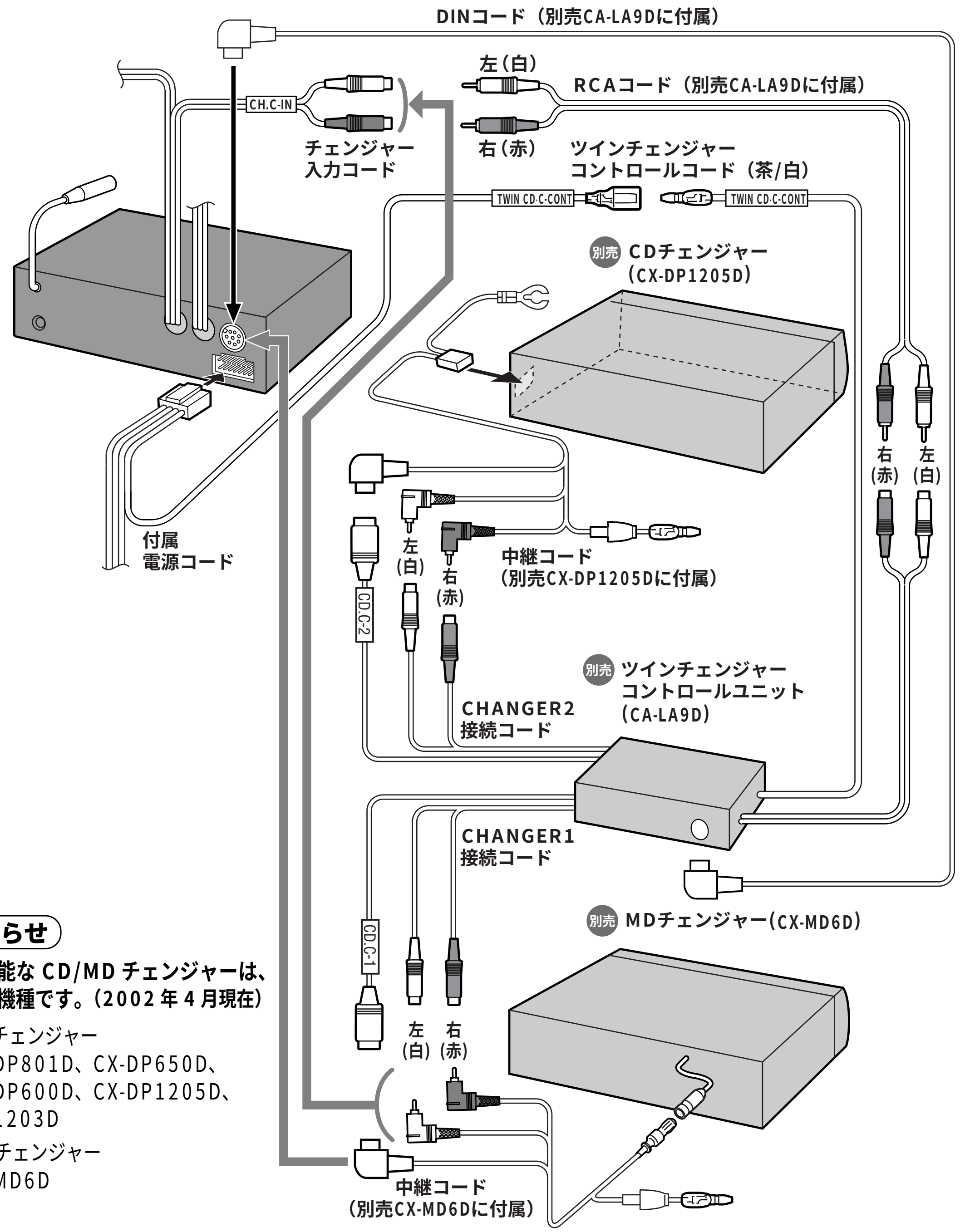
配線のしかた

チェンジャーを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

例）CD チェンジャー（CX-DP1205D）、MD チェンジャー（CX-MD6D）

■ **2 台接続する場合には、ツインチェンジャーコントロールユニット（CA-LA9D）が必要です。**
■ **1 台の場合は、太線（ ⟶ ）のように接続してください。**（例： MD チェンジャー）



お知らせ

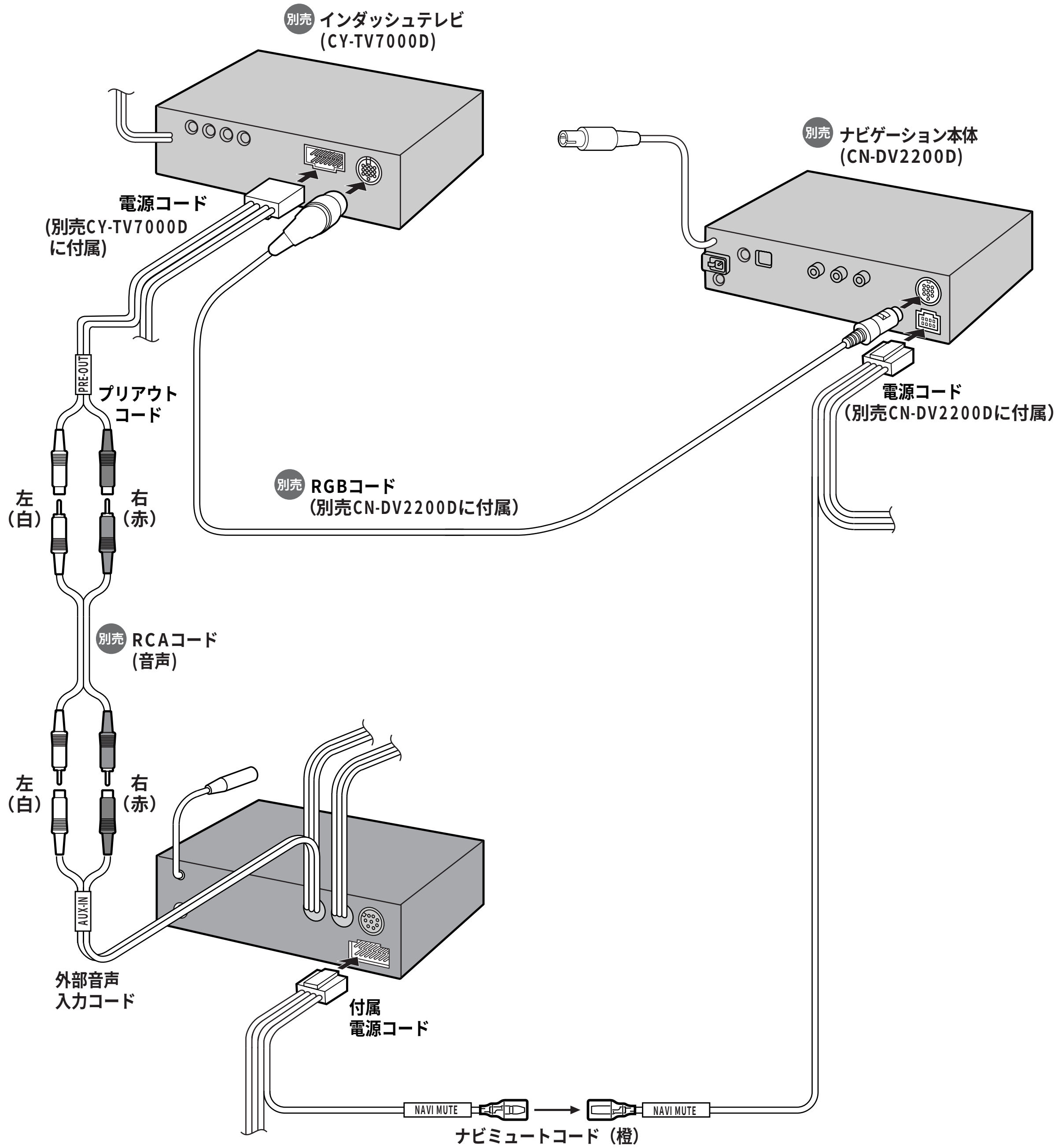
接続可能な CD/MD チェンジャーは、下記の機種です。（2002 年 4 月現在）

- CD チェンジャー
  CX-DP801D、CX-DP650D、
  CX-DP600D、CX-DP1205D、
  CX-1203D
- MD チェンジャー
  CX-MD6D

ナビゲーション、インダッシュテレビを接続する

接続する各機器の取付説明書も、併せてご覧ください。

例）DVD カーナビゲーションシステム（CN-DV2200D）、インダッシュテレビ（CY-TV7000D）



必要なときに

仕様

共通部

電源電圧	：DC12 V（11 V ー 16 V）⊖ アース（試験電圧 14.4 V）
消費電流	：8.5 A 以下（MD または CD 動作定格出力時）
定格出力	：16 W × 4 CH（1 kHz, 1 %, 4 Ω）
最大出力	：45 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	：4 Ω
音声入力インピーダンス	：10 k Ω（AUX IN）
音声入力感度	：2 Vrms（AUX IN）
プリアウト出力電圧	：2 Vrms（CD/MD）
プリアウト出力インピーダンス	：200 Ω
外形寸法	：幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 155（㎜）
質量	：1.7 kg

DSP 部

チャンネル数	：入力 2 チャンネル、出力 6 チャンネル
スペースモード	：7 種類
イコライザー中心周波数	：80, 160, 320, 640, 1.6k, 4k, 10k（Hz）
イコライザー可変範囲	：－ 12 dB ～ ＋ 12 dB（13 段階）

FM チューナー部

受信周波数	：76.0 MHz ～ 89.9 MHz
実用感度（S/N 30 dB）	：12 dBf
S/N 比（MONO）	：70 dB
ステレオ分離度	：42 dB
実効選択度（± 400 kHz）	：75 dB

AM チューナー部

受信周波数	：522 kHz ～ 1629 kHz
実用感度（S/N 20 dB）	：27 dB/μV
イメージ妨害比	：65 dB

MD プレーヤー部

周波数特性	：5 Hz ～ 20 kHz
信号対雑音比	：90 dB（IHF、A）
ワウ・フラッタ	：測定限界以下

CD プレーヤー部

チャンネル数	：2 チャンネル
復号化	：16 ビット直線
周波数特性	：5 Hz ～ 20 kHz
信号対雑音比	：90 dB（IHF、A）
ワウ・フラッタ	：測定限界以下

- 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 「NAVI」「ナビ」は登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービスについて

■保証書（別添付）
お買い上げ日·販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年間

■修理を依頼されるとき
「故障かな!?」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間
本製品の補修用性能部品 (機能を維持するために必要な部品) は、製造打ち切り後 6 年保有しています。

修理·お取り扱いなどのご相談は…
お買い上げの販売店　または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは…
「お客様相談センター」へ

お 客 様 相 談 セ ン タ ー

電話 フリーダイヤル 0120-50-8729（ゴー　パナソニック）

FAX 045-939-1939

受付 9:00 ～ 17:00（土·日·祝日·弊社休日を除く）

必要なときに